

令和8年3月10日

令和7年度 とうきょう すくわくプログラム推進事業 活動報告書

園名	台東区立田原幼稚園
所在地	台東区雷門1-5-17

1. 活動のテーマ

<テーマ>

音楽表現

<テーマの設定理由>

幼児は日々の生活や遊びの中で音楽に合わせて踊ることや、歌を歌うことを楽しんでいる。一方でリズムに合わせて踊ることや体を動かすことに抵抗を感じる幼児もいる。音楽表現の活動を通して、自分なりの動きで踊りを楽しんだり、音を鳴らしたり、また、友達と声を合わせて歌ったりしていくことが、幼児一人一人の表現への探求につながっていくと考え、このテーマを設定した。

2. 活動スケジュール

- 6月 土曜保育参観にて、親子で合奏団の音楽を鑑賞し、身近な曲に合わせて踊る
- 10月 様々な楽器の音を聴いたり、実際に触れて音を出したりする
身近にある素材である、段ボールを楽器に見立てて叩き、音を出す
- 11月 体を動かしながら音を出したり、歌を歌ったりする
- 12月 生活発表会で楽器遊びや歌を披露する

3. 活動のために準備した素材や道具、環境の設定

- ・踊りや体操を取り入れ、学級のみinnで体を動かして踊る機会をつくった。
- ・カスタネット、タンブリン、スズなどを環境に用意し、手に取って音を自由に鳴らせるようにした。
- ・段ボールやラップ芯、ペットボトルやビーズなど、自分たちで音が出る物を作ったり鳴らしたりできる場を設定した。
- ・親しみのある曲や幼児が好む様々なジャンルの曲を用意した。

4. 探究活動の実績

<活動の内容>

- ・合奏団の歌っている姿を見て、一緒に踊ったり歌ったりした。
- ・様々な楽器の名前を教えてもらい、実際に触れて鳴らしてみる経験をした。
- ・段ボールが楽器になることを知り、叩いて鳴らして楽しむことを楽しんだ。
- ・歌を歌う時の姿勢や口の開け方、声の出し方を教えていただいた。

<活動中の子供たちの姿・声、子供同士や子供と保育者との関わり>

- ・今日はどんなことをするのかと期待を高めて活動に参加する姿が見られた。
- ・「この楽器、何ていうの?」「鳴らしたい」などと言い、活動に意欲的だった。
- ・様々な楽器の音を聴かせてもらうと、「お化けの音だ、怖い」「これは海の音だね」「お店のレジのチーン音に聞こえた」など、音を聴いて自分なりに感じたことや知っている音だということを言葉にしていた。
- ・音によっては低い音で怖いと感じたり、大きな音に驚いたりする姿もあった。
- ・カホンという楽器を鳴らした。叩く箇所によって音の違いを感じることができた。活動後、学級でも段ボールを叩いて演奏会を楽しむ姿が見られた。

<活動の様子>



音楽を楽しもう



絵本の中の音をさがそう



こんな楽器初めて見た

5. 振り返り

(振り返りによって得た保育者の気づき)

- ・様々な音楽や楽器に触れたことで、「こうしてみたい」「これはどんな音がするだろう」と意欲や関心を高めて遊びに取り入れていき、自分なりの表現を楽しむようになった。
- ・学級のみみんなで踊ることや体全身を使って動くことが楽しめるようになった。
- ・歌やダンスのショーをやるなど、周りの人に見てもらい楽しさや喜びを感じるようになり、表現を高める姿につながった。

以上